

健

康

新

聞

2015年6月号
新聞係発行

特集 糖尿病学会参加！

今年も糖尿病学会が開催されました。山口大学の主催で、下関・門司、小倉をフルに利用しての学会でした。当クリニックからも院長はじめスタッフともども参加しました。風光明媚で、歴史の匂い豊かな場所での学術発表は素晴らしいものでした。院長は糖尿病の検査中に発見された珍しい患者症例を、山里看護師は当クリニックでの患者会の立ち上げと、その活動について報告致しました。活発な議論が行われ、どの病院・クリニックでも同じような点に興味をもち、患者さんを励ましながら疾患と向かい合っていることがわかりました。糖尿病の薬もいろいろ増えており、膵臓の再生医療などの研究分野にも注目が集まっていました。これからも学んだことを臨床に活かしていきたいものです。

さて、先月も健康教室と個人栄養指導が行われました。健康教室参加者からの感想を記載しますので、参考にして下さい。栄養指導の受講希望者は、受付もしくは院長に申し出て下さい。

5月28日健康教室参加者の感想

- ・40代女性：以前入院した際、隣の患者が足を切られていたのを見ていたが、自分も続かなかった。ビデオをみて、継続は力なりだということを再認識した。
透析になる人、ならない人は結局自分で行動するか、しないかであることがわかった。体型にあったカロリー計算があるので、バランスの良い食事を取らないと行けない。玄米も食べるし、主食は主にパンだが、ふすまの入った胚芽パンなどを食べている。副菜が少なく、野菜（サラダでもよい）が少ないことも指摘された。運動も40分くらい継続したい。
→ かなり気をつけて頑張っていることがわかります。それが自己流になっていたかもしれないので、これからはゆっくりと治療していくこと。主治医は自分であることを再認識してもらった。

時間割表

6月25日（木） 健康教室
2時間目給食あり

6月27日（土） 個人栄養指導

栄養指導担当講師

古川高子先生

石川絹子先生

<編集後記>

「面白きことも無き世を面白く」、この高杉晋作の句の下句は「すみなすものは心なりけり」です！